

提言第3号 注射剤によるアナフィラキシーに係る死亡事例の分析

事例番号：事例10

< 事例概要 >

- ・悪性腫瘍切除術の80歳代男性。手術室で発症。死亡時画像診断（Ai）無、解剖有。
- ・原因薬剤は、筋弛緩薬のエスラックス。
- ・過去に薬剤によるアレルギー症状の出現無。
- ・全身麻酔でエスラックスを投与した直後にマスク換気圧抵抗出現、2分後心電図上ST上昇・高度徐脈を認め、皮膚が赤黒く変化した。上腕動脈・橈骨動脈・大腿動脈の触知が困難となり、胸骨圧迫開始。6分後にアドレナリン1mgを静脈内注射し、救急処置を実施するが、約13時間後に死亡。